

# 九国プレ2019

## 国語

九州国際大学付属中学校

### 【注意事項】

- 1 開始合図のチャイムが鳴るまで、この問題用紙の中を見てはいけません。
- 2 開始合図のチャイムが鳴ったら、最初に解答用紙と問題用紙に受験番号・氏名を書きなさい。
- 3 試験時間は50分です。
- 4 解答はすべて、問題の指示にしたがって解答用紙に記入しなさい。
- 5 問題用紙で、印刷がはっきりしないところがあったら、静かに手をあげなさい。
- 6 答案ができあがっても、終了合図のチャイムが鳴るまで静かに着席していなさい。

字数制限のある問題については、句読点なども一字とします。

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	--------	--

※ 「これから示す文章については、一部省略しているところがあります。また、まだ習っていない漢字については、ひらがなで表記したり、読みがなをふつたりしています。

なお、字数を指定している問題は、句読点やかぎからなども一字と数えます。

【】次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

さて、今日の本題である「ほんとうの国語力を身につける」というテーマに①アシついていきましょう。

まず、理科の教科書を思い出してください。そうすると、こんな感じの文章が出てきますね。「レーカーに②ジョウリコウ水を何こ入れました。そこに粉末状の何々といふ薬剤を加えました。アルコールランプで熱して、何度もなるまでかくはんしつづけました。」こうした「事実と論理」のみで構成されたような文章は、あまり国語の授業では扱われません。でも、①言語能力を磨いていくには、「これが重要なんです。

たとえば、小学生に作文を書かせてみると、みんな「③インショウ」ばかりを書いてしまふんですよ。「今日は遠足に行きました。お花がきれいでした。とっても気持ちよかったです。」といった感じですね。これは中高生になつても同じで、いわゆる国語というものがあまりにも情緒的になりすぎていて、あります。A、美しい文章や感受性豊かな文章を書けることが、国語力の証のようになつていて。ベタベタした、あまつたるい文章が「美文」と思われるようになつていて。

B、言葉にとって大切なのは、見た目の美しさではありません。なによりも先に「正しさ」なのです。美しさや情緒なんて、しょせんは「飯のふりかけみたいなもので、ベースとなるのは④正確無比な文章なんですよ。

「今日は遠足に行きました。お花がきれいでした。とっても気持ちよかったです」という先の文章の場合だと、「今日」とは何月何日なのか。「遠足」はどういうに行つたのか。誰と、どのようにして行つたのか。「お花」はどんな花なのか。大きさは、色は、香りはどうだったのか。そしてなにが「気持ちよかったです」のか、といった肝心な部分が抜け落ちています。【中略】

とにかく情緒を切り捨てる」と。事実と論理だけで文章を組み立てていく」と。それこそが、本当の国語力を高めていくポイントなのかもしれません。国語力を鍛えるトレーニング方法として、僕はよく「絵を言葉で書いて」アラルと言つています。自分の描いた絵でもいいし、漫画のひとコマでもいい。とにかくそれを言葉に変換してみる。いわば言葉に「翻訳」するんです。たとえば、ひまわりの絵を見ながら、「大きく育った黄色いひまわりが咲いてる。ギラギラ輝く太陽に照らされている。青々とした葉には、くつきりと⑤ヨウミヤクが浮かんでいる。太い茎は、少々の風が吹いても折れそうにな」といった感じで言葉にしていく。もちろん、絵だけではなくテープルに置かれたコップなどでもかまいません。次のような感じでしょうか。「ガラス製の小さなコップがある。大きさはちょうど手のひらに収まる程度。容量にして180ccといったところ。使い古され、ややくもつている。くもりをよく見ると、それは小さなキズの集まりである」とかく、目に見えるものを言葉に変換していくの

です。

←対象の状態を言葉で表す」と

「」など、ひとつ注意すべきルールがあります。それは、「自分の意見をいっさい入れない」ということ。たとえば花を描写するときにも、「美しいピンク色に染まつて」とか「はないむらさき色の花が」なんて主観的な表現は入れない。「美しいピンク色」も「はない紫」も、あなたの主觀にすぎません。もしかしたら、同じ花を見て「けばけばしいピンク色だ」と感じる人もいるかもしれないし、「毒々しい紫だ」と感じる人もいるかもしれないのです。

D 帰国後、③友達にその古城の様子を伝えようとするとき、「涙が出るくらいキレイな城だったんだよ」「とにかくカッコイイ城なんだ」と力説してみても、相手はまるでイメージできません。それよりも、「どこの国の古城なのか」「その古城は何階建てで、どんな形をしていたのか」「どれくらいの大きさなのか」「木造なのか、石造なのか」「何年ほど前の建造物なのか」「屋根の形、④マードの形はどうだったのか」「城壁はあるのか、あるとすればどんな城壁か」「日本のお城とはどう違うのか」といった、客観的かつ具体的な情報があつてこそ、伝わっていくのです。

(『16歳の教科書』 国語 絵筆のように言葉を使おう 金田一 秀穂)

問一 → a) ⑤のカタカナを、漢字に直しなさい。

問一 A D にあてはまる最も適切な言葉を次のなかからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア そして イ でも ウ だから エ たとえば オ つまり

問二 → ① 「言語能力を磨いていくには、これが重要なんです」について、

(1) 「」が指示する内容を、本文中から二十字で抜き出しなさい。

(2) なぜ、重要なのが、筆者の考え方として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 情緒豊かな文章を書けることが国語力の証であり、筆者は、だれもがうつとりとするような文章を書けるようになる」とを目指しているから。

イ 筆者は、言語能力を高めるには、国語の授業だけでなく理科など他の教科の力も必要であると考え、他の教科の教科書も時には見本になると考へているから。

ウ 筆者は、文章で一番大切なものは正しさと考へており、このような文章を組み立てていく」と、本当の国語力を高めていくものだと考へているから。

エ 筆者は、言語能力には絵画を描く力も関係していると考へており、絵を言葉にしたり、言葉を絵に描いたりする」ことをトレーニング方法として考へているから。

問四 —— ②「正確無比な文章」について

(1) 「これと正反対の内容を表すものを、本文中から十四字で抜き出しなさい。

(2) 「これをわかりやすく言いがえると、どのような文章のことを言うのか、本文中の言葉を使って四十字以内で書きなさい。

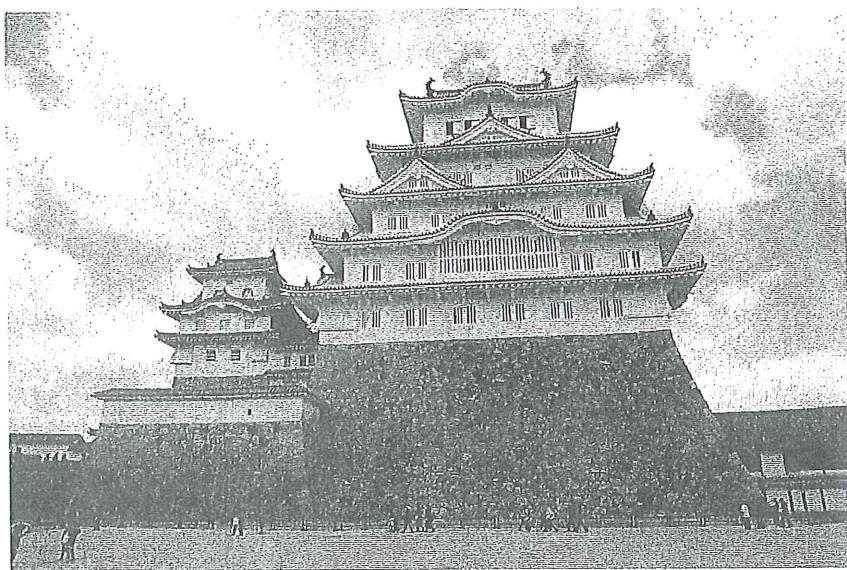
問五 —— ③「友達にその古城の様子を伝えよう」とあります。次にあげる「ヨーロッパのお城」と「日本のお城」の二枚の写真を比較して、点線部の「日本のお城

と「ヨーロッパのお城」のどこが違うのか」という点から、わかりやすく友達に説明しなさい。

〈ヨーロッパのお城の写真〉



〈日本の城の写真〉



問六 本文の話の進め方についての説明として、最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 筆者独特のユニークな発想から国語力をとらえなおし、起承転結の文章構成をとつて話を進めている。
- イ なかなかとらえきれない国語力を、数値化したりたとえを使つたりして、イメージしやすいようにしている。
- ウ 結論を最初に示すことで、読者に読みの方向性をあたえ、予測しながら読み進めていけるよう工夫している。
- エ 具体的な事例をとじろどじろはさむことで、読者がイメージしやすいように話を展開し、説得力を高めている。

【二】 次にあげる文章は『夏の便り』という作品の一部分です。「俊治」は生まれながらにして顔の広い範囲にあざがあり、小さなころからつらい生活を送っていました。大人になつたある日、俊治は亡くなつた父親の友人「藤田さん」のお見舞いに行き、そこで「直美さん」という女性に出会います。その後、二人は婚約することになり、俊治はその喜びを姉の「綾子」にあてた手紙につづりました。文章の前半は、この手紙の内容です。そして、俊治が直美さんを連れて実家に帰省していくことになります。母親と姉の綾子は昔のことと思い出しながらその帰りを楽しみに待っています。文章の後半（【後略】の後から）は、そのときの一人の様子です。次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

### 綾子姉さんへ

俊治

写真失礼。入れたつもりが、そちらへ手紙を出してからしばらくたつた日に、引き出しから出できました。きっとはずかしがってかくれてしまつたのかもしれないね。

どうもぼくのおつちよこちよいは、いつまでたつてもなおりません。切手を忘れて手紙を出したり、買い物して買ったものをわすれたり……。【中略】

ぼくが直美さんに出会つきかけを作つてくれたのは、とても不思議な気がするけど、実は父さんなんだ。

父さんの古い友人の藤田さんを姉さんはおぼえていますか。ぼくが上京して最初にお世話になつた方です。

藤田さんは一年ばかりまえ、新宿のR病院に入院していました。父さんからの手紙で藤田さんの入院を知り、おみまいにうかがつたとき、同じ病室に直美さんのお父さんが入院しておられたのです。【中略】

直美さんもそろくよく顔を見せていました。藤田さんの奥さん、彼女のお母さん、それにぼくや直美さんと、病人をかこんでにぎやかであるでパーティみたいでしたよ。そのうち、ぼくはしだいに直美さんにひかれていました。直美さんは目をみはるほどの美人ではありませんが、ひかえめで落ちついた美しさといつたらいいのが、とにかく、ぼくのまわりにいる若い女性にない静かな美しさを感じたのです。

病室での彼女は、お父さんに対することを藤田さんにもさりげなくやつてあげるのです。まるで、ほんとうの親子のように。

正直いうと、ぼくはしだいに藤田さんのおみまいというより、直美さんに会えるのが楽しみで通うようになつていきました。でも、ぼくと直美さんではA月とスッポン。自分では人間としてしつかり生きてきたという自信はあるんですが、しかし、この顔を人がどう見るかというところをどうしても考えてしまつ。すると、自信がぐらつくのです。

直美さんと、もひと親しくなりたい気持ちはつのつても、どうせだめだと思うと、自分からは一步も踏み出せなかつた。

姉さん、ぼくの青春はずつとううだつた。人がどう見ようと自分は自分だと自分を励まし、けしてうつむくことなく顔をあげて生きていこうとがんばつてきた。  
だけど、姉さん。①多くの人は顔を見てぼくを判断しようとしましたよ。

ほんといふと、ぼくは父さんや母さんをどれほどのろつたかしれない。生きているのがいやで、なんじ死のうと思つたかしれない。  
だけど死ねなかつた。死んだら負けだと思つた。それに、父さんや母さん、姉さんや美佐子、みんなが心からぼくを愛してくれたもの。だから、みんなを悲しませたくなかつたし、うらぎりたくなかった。

ほんとうにつらかつた。どれほどくやしい思いをしたか。ぼくは 1 人間きらいになりそつた。

ひねくれていたのもしれない。だから、直美さんに対しても、心ひかれながらも最初からあきらめていたんだ。

ところが、ある日、自分の耳を疑うよつな」とがおきたんです。病院からの帰りに、彼女が駅まで「いしょさせてください」といつたんだよ。

その日から、駅までの短いデートが始まりました。なにを話していいかわからないままに。でも、ぼくはそれだけでもうれしかつた。  
ある日、ぼくは思い切つて彼女をお茶にさそいました。すると、彼女はほほえんでうなずいたのです。うれしかつた。②ほんとにうれしかつた。ぼくが初めて女性に受け入れられた瞬間しゃくかんだつたんだもの、姉さん。

【後略】

「お母さん、お茶にしない。つかれたでしょ、ひそしるりに市場へいつて」

「だいじょうぶよ。どつこしょつと。ああ、つかれた」

「ほふ、やいぱり」

「はい、お茶」

「ありがと。あ、ほしこたけ、買ったかしら?」

「だいじょうぶよ、わたし買つたから」

「俊治は五目ずしが大好きだから」

「お母さんの五目ずし、おいしいもの」

「あした何時だつた、こつちにつべの?」

「飛行機がお昼すぎだから、一時<sup>じ</sup>になると思つわ」【中略】

「なんだか落らつがないわね……。俊治、どんな顔してくるかしらね」

「俊ちゃん、直美さんが結婚を受けてくれたとき、泣いてしまつたんですつて」

「そう……。③あの子、わたしたちの前では涙を見せなかつた……」

「お父さんもお母さんも、俊ちゃんのことをとても思つてらしたもの。でも、お母さんには話さなかつたけど、俊ちゃん、一度、学校で大泣きしたことがあったのよ」

「え、ほんと?」

「あれはわたしが六年生のときだつた。俊ちゃんは三年生だつた。昼休み、教室に俊ちゃんがわあわあ泣きながら飛びこんできたの。わたしのクラスの人たちが俊ちゃんの顔の」とをからかつたつて。お姉ちゃんがいるのに、「どうしてぼくのいやな」とをいわせるんだつて……、わたしのせなかをどんどんたいて泣いた……」

「そつ……。あの子にはたえる」とばかりさせてしまつた。すまない」とをしたよ……」

「でも、お父さんもお母さんもりつぱだわ。俊ちゃんをどうへでも@連れていつたもの。お客様がくると、必ず俊ちゃんをよんでも挨拶させたりして。それに、あの子の治療のためなら、どうへだつて足を運んだし、借金だつてしたんだもの」

「東京までいつて⑤手術したけど、うまくいかなかくてねえ……」

「俊ちゃん顔をぱんぱんにはらして帰つてきた。④わたし、まともに俊ちゃんの顔を見れなかつた。俊ちゃんがかわいそ�で」

「あの子はうひみが」とついわながつたよ」

「一時期、ふびひいこんでいたころがあつたでしょ。中学になつたころだつたかしら。部屋で⑥鏡をのぞいているといふを、わたし見ちゃつたの。あのときわたしたちがうしらいいいかわからなくてつらかつた……。でもいい友だちがいてくれて……」

「魚屋の杉田くん。よく遊びにきてくれたわ。あそ<sup>そ</sup>、このうろ繁盛<sup>はんじょう</sup>してるみたいね」

「ええ、たいしたもんよ。」のあいだ、俊ちゃんの話をしたら、杉田くんね、⑦お祝いにいきのいい魚もつて会いにいくからねって

「ありがたいわね、友だちつて」

「金沢くんて子、ほら、俊ちゃんにお守りをもつてくれた子、おぼえてる?」

「ああ、の方。今にしてなさるの?」

「土建屋さんの社長さんらしいわ」

←土建屋といとむ人

「うう……。あれは、俊治が大学の受験のときだつたね。金沢くんが 2 だずねてきて、これ俊治くんについてお守りをもつてきたのよ。おれんちのそばの神社ので、よく①効くからっていうの、ほほほ……」

「あの子、手がつけられないほどひばついて、ときどき俊ちゃんをいじめてたそりやない。それが、いつからか 3 しなくなつたつて聞いたわ」

「それはね、事情があるのよ」

「事情つて?お母さん、知つてるの?」

「中学二年のときだつたかしら、俊治が学校の帰りに車にはねられた人を助けてあげたことがあつてね。自転車」と飛ばされて血だらけになつてた人を見つけて、救急車を呼んだり応急手当てをしてあげたらしいのよ。それが、金沢くんのお父さんだつたの」

「ふーん……、そうだつたの。金沢くんがうちへきたとき変わつた服装だつたから、俊ちゃんにもこんな友だちがいたのかつてびっくりしちやつた」

「金沢くん、それからはだれにも俊治の悪口をいわせないつて、かばつてくれてたらしいのよ」

「へえ。金沢くんつて、B義理がたいのね」

「いろんな目にもあつただろうけど、いい友だち、いい先生に出会えてよかつた。それも、あの子が一生懸命生きていたからだと思つたのよ」

「ほんと。俊ちゃん、勉強もクラブもよくがんばつたもの。人に負けないぞつて、いつも、そう思つてやってたのね」

「いつも氣をはつっていたんだろ?ね……。あ、そうそう、綾子、おふとん、ほしとかなくちゃやあね」

「もう、ほしてあるわよ。ぜんぶ、用意はできました。あとは、俊ちゃんたちをまつぱかりよ」

「なんだか、落ちつかないわねえ……」

問一 ①～④の漢字の読みをひらがなに直しなさい。

問二 A 「月とスッポン」、B 「義理がたい」の意味として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

A 「月とスッポン」

ア 似たものどうしといふ」と

イ 理想と現実のちがい

ウ おたがいに思い合つてゐる」と

エ 実質がひどくちがつてゐる」と

B 「義理がたい」

ア 受けた恩をしつかり返すさま

イ だれにも負けないほど強いさま

ウ 自分の利益を優先するさま

エ 相手を強く信頼するさま

C 「義理がたい」

問三 1 [ ] 3 [ ] にあてはまる言葉を次から一つ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア きつたり イ ひよいり ウ すっかり  
エ しつかり オ ぱつぱつ

問四 ①「多くの人は顔を見てぼくを判断しようとしたよ」とありますが、具体的にはどんなことをされたのか、そのことが分かる一文を本文中から抜き出し、最初の五字を書きなさい。

問五 ②「ほんとにうれしかった」とありますが、その理由の説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア ハンデがあるため、他人との競争には絶対負けたくないという思いで生きてきたが、今回も直美さんのことを一度あきらめかけたが、ライバルを負かすことよつて、かけがえのない人を入れることができたから。

イ 懸命に生きてはきたが、他人からの接し方には心を痛め、死ぬことまで考えるほど思いなやんだ。そんな中、直美さんと出会い勇気を与えられ、生まれて初めて他人の女性に自分のことを受け入れてもらえたから。

ウ 父親のみちびきよりて直美さんと出会い好きになつたが、顔にあとのある自分とだれもがふりむくような美人の直美さんは、つり合ははずもなくあきらめかけていたが、直美さんの方から告白してくれ、その気持ちがありがたかつたから。

エ 自分のしようがいに絶望して学校にも通わずふさぎこんで生きてきたが、そんな自分に直美さんは愛情を注ぎ続けてくれ、最終的には結婚まで約束してくれた」というて、自分も生きていいのだと自信が持てるようになったから。

問六 ————— ③ 「あの子、わたしたちの前では涙を見せなかつた」とあります、このときの「俊治」の気持ちを「手紙」の中の言葉を使って書きなさい。

問七 ————— ④ 「わたし、まともに俊ちゃんの顔を見れなかつた」とあります、このときの「綾子」の気持ちとして最も適切なものを次の中から選び記号で答えなさい。

ア わたしのせいで弟が同級生にいじめられたり、手術もうまくいかなかつたことを心から反省し、申しわけない気持ちでいっぱいだつた。

イ 父や母が借金してまで手配した手術であつたのにうまくいかず、これから家族五人の生活のことを考へるとやるせない思いしかわいてこなかつた。

ウ これまでの弟の苦しい状況を目の当たりにしてきて、予想通り手術もうまくいかなかつたことで、弟の将来を思うとかわいそうで仕方なかつた。

エ 今度こそ、弟がこれまでのつらい思いから解放されると期待していたのにうまくいかず、弟の気持ちを考えるとあまりに気の毒で仕方がなかつた。

問八 読書会でこの文章を読んだ感想を、Aさん、Bくん、Cさん、Dくんが話し合っています。□□□□□においてはまる言葉を、後に示す条件にしたがつて書きなさい。ア・エ・オに關しては文章中から指定された字数で書き抜きなさい。イとウに關しては、指定された字数で自分で考えて書きなさい。

Aさん 「俊治」がハンデを背負いながらも懸命に生きる姿に感動しました。また、「直美さん」といつすばらしい女性とめぐり合ひ、結ばれるといつ結果にも心からはくしゆを送りたいと思います。

Bくん そうですね。「直美さん」のすばらしさは、「俊治」を受け入れたといつ島にも表れていますが、病室で「藤田さん」にある□□□□□ア(十一字)接

している点にもうかがえると思います。人のよさを、イ(二字)から判断するのではなくて、ウ(二字)から判断しているのだと思います。

Cさん ぼくもそんな人間になりたいと思います。また、「俊治」自身も、金沢くんのお父さんが□□□□□エ(七字)ときに一人でその命を救つてあげたところがソードからも、勇氣や思いやりにあふれた人間であり、見習いたいと思います。

Dくん そんな人間としてすばらしい一人が出会い、結婚するといつ奇跡に、ぼくも感動しました。でも、筆者は、「俊治」を最初から完全な人間として描くのではなくやみ苦しみ、なんども死のうと思つたり□□□□□オ(五字)になりそつになつたりして、いる姿も描いているので、読者は共感し、深く心がゆざぶられるのだと思います。

三

次の各問に答えなさい。

問一 漢字の読みには音と訓があります。次の熟語の読みは□の中のどの組み合わせになっていますか。ア～エの記号で答えなさい。

- ① 味方 ② 操作 ③ 弱気

ア 音と音 イ 音と訓 ウ 訓と訓 エ 訓と音

問二 次の慣用句の□にあてはまる体の部分を表す言葉を、あとでの意味を手がかりに答えなさい。なお、ひらがなでもかまいません。

- ① □をする

くじつくりと落ち着いて一つのことに取り組むこと

- ②

□が上がる  
くじょうずになること

- ③

□を折る

くわいになつてゐる相手に恥をかかせる

問三 次の□に漢字二字を入れると四字熟語が完成します。それぞれにあてはまるものを後の語群から選び、漢字に直して答えなさい。

- ① □小異 ② □直入 ③ 温故 □ ④ 一期 □

いちえ いちじつ だいどう ちしん きしょう たんとう